

熊本県の古代山城

くに し せき きく ち じょう あと

国史跡鞠智城跡



ふくげんたても の はっかくけいごろう ぐめぐら
復元建物(八角形鼓楼、米倉)

歴史的意義

【約300年間の存在期間】

- 7世紀後半から10世紀中頃までの約300年間にわたり、城内の建物などが建て替えられた様子が明らかになりました。
約300年間という長期にわたって城として役割を果たしてきたことが文献資料と発掘調査の成果から確認されました。

【国内初の八角形建物跡と貯水池跡】

- 朝鮮半島にある古代山城には、八角形建物跡や貯水池跡がつけられています。国内の山城では、この八角形建物跡や貯水池跡が見つかっているのは、鞠智城跡だけです。

【百済系銅造菩薩立像の発見】

- 百済を逃れ日本に身を寄せた貴族がもたらしたと考えられる百済系銅造菩薩立像が貯水池跡から発見されました。城を造るに当たって、この貴族が活躍したものと思われまます。

【鞠智城の複合的・重層的な機能】

- 鞠智城は、唐・新羅の連合軍による日本侵攻にそなえて築城されました。その後、大和朝廷に従わない南九州の隼人問題を解決するための役割をもつなど、軍事的な役割以外に、これと異なる機能を合わせもっています。

特徴

- 外からの敵を防ぐための土壁(土塁線)や城の入口(門)の構造をはじめ、城全体が大変良い状態で残されています。
- 昭和42年から第32次に及ぶ発掘調査により、城の内容が明らかになってきました。

熊本県立装飾古墳館分館歴史公園鞠智城跡・温故創生館

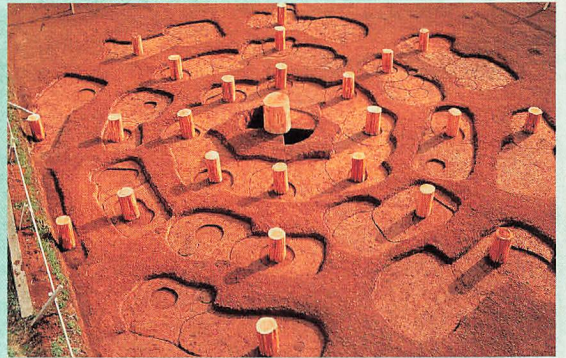
〒861-0425 熊本県山鹿市菊鹿町米原 443-1

TEL/0968-48-3178 FAX/0968-48-3697

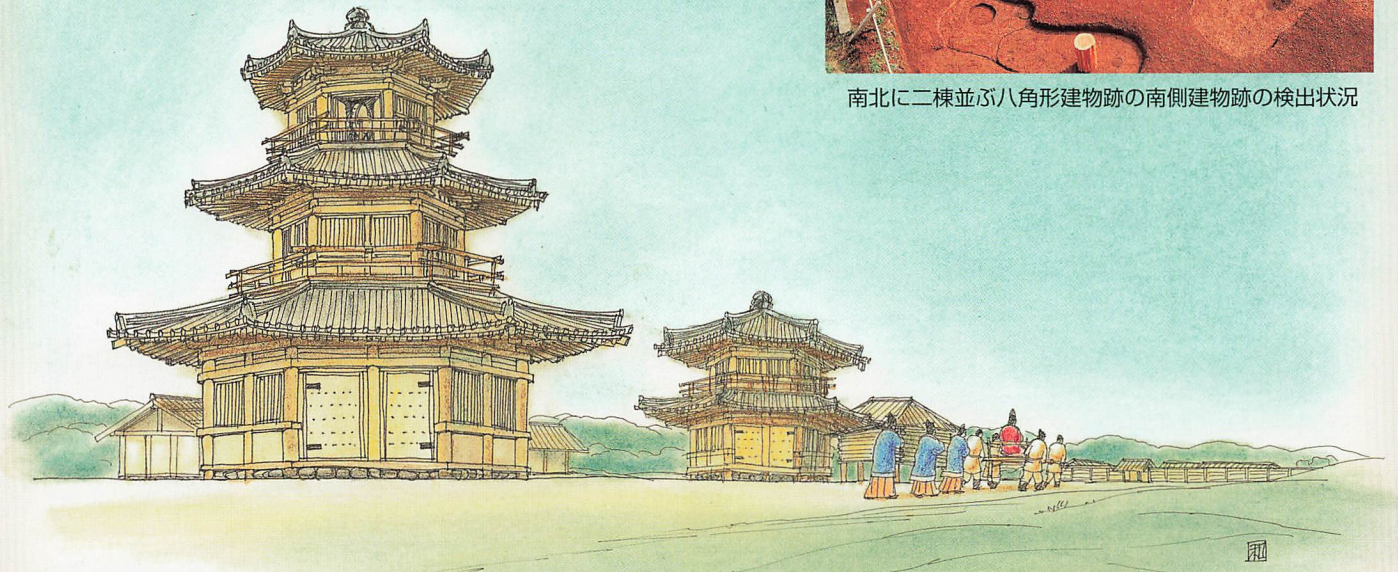
<http://www.kofunkan.pref.kumamoto.jp/kikuchijo/>



マスコット ころう君



南北に二棟並ぶ八角形建物跡の南側建物跡の検出状況



八角形建物前を通る役人（想定）

画：早川 和子



鞠智城Ⅱ期の様子（想定）

熊本空港より車で…約40分
 植木I.C.より車で…約20分
 菊池I.C.より車で…約45分
 交通センターよりバスで約60分
 菊池プラザ下車。→タクシーで約5分
 県立装飾古墳館より車で…約20分

近隣詳細図



百済系銅造
菩薩立像側面

百済系銅造
菩薩立像正面

遺物 木筒

「秦人忍（米九）五斗」

この電子書籍は、国史跡鞠智城跡 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版は発掘調査報告等、他の書籍から引用してください。

鞠智城跡の発掘調査報告は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：国史跡鞠智城跡

熊本県の古代山城

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

電話： 096-383-1111

URL： <http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦 2024 年 9 月 15 日